

## 257th ACS National Meeting &amp; Expositionに参加して



目で見ると  
海外論文発表

大野 祥平\*

257th ACS National Meeting & Exposition

Key Words : Metal-catalyzed reaction, Organic chemistry, Bond cleavage

<参加会議名>

257th ACS National Meeting & Exposition

<開催場所> Orlando, Florida

<渡航期間> 2019/3/30-4/6

<発表タイトル>

Ni-catalyzed C-O bond cleavage of 3-phenoxy acrylic acid derivatives and subsequent intramolecular C-C bond formation to give benzofurans

この度、生産技術振興協会のご支援を賜り、2019年3月30日から4月5日の期間に、アメリカ合衆国、フロリダ州オーランドで開催された257th ACS National Meeting & Expositionに参加しました。本会議は、化学の学術研究の発展を目的とした世界最大規模の研究集会です。今回の会議では、化学分野に関するすべての研究について、合計7000以上の発表が行われていました。

私は現在、炭素-酸素結合切断を用いるヘテロ環合成反応の研究を行っています。本反応は、炭素-酸素結合と炭素-炭素三重結合の結合形成反応であるという点、炭素-酸素結合の切断を基軸とした分子内反応であるという点において、世界初の例となっています。本会議において私は、上記の内容についてポスター発表を行い、各国の研究者と有意義な討論を行うことが出来ました。ポスター発表会場に

は、ビールサーバーやバイキングなどが有り、衝撃的でした。私のポスターに訪れた研究者からは、合成方法や置換基効果に関する質問を数多く受け、海外の研究者からも注目される研究なのだと実感しました。本学会の参加を通して、世界中の研究者の研究成果を聞けただけでなく、ディスカッションも行い、有意義な5日間を送ることが出来ました。このような貴重な機会を与えて頂きました、生産技術振興協会に心より御礼申し上げます。今後も広い視野で有機金属化学の研究発展に貢献できるように、日々邁進する所存です。



入り口にて



会場の様子



発表の様子



\* Shohei OHNO

1993年3月生まれ  
大阪大学大学院 薬学研究科 創成薬学専攻 博士前期課程卒業 (2017年)  
現在、大阪大学大学院 薬学研究科 創成薬学専攻 博士後期課程3年 日本学術振興会 特別研究員 (DC2)  
E-mail : u002878a@ecs.osaka-u.ac.jp